

浄化槽設置整備事業補助金の提出写真

➤ 写真管理の注意

- ・ 浄化槽整備士が工事を実地に監督していることが分かるように撮影すること。
- ・ 逆光等を避け、フラッシュや撮影角度の工夫を行い、明瞭に撮影すること。
- ・ 内容に応じ、全体写真とスケール、水平器等のアップを撮影すること。

➤ 交付申請に必要な写真

① 放流先の写真（家屋及び放流先の周辺状況が分かる写真） ≪転換に係る補助金の額の加算がある場合≫
② 既存単独処理浄化槽又はくみ取槽の現況写真

➤ 実績報告に必要な写真

写真の種別	注 意 事 項
①着工前	浄化槽設備士が正面を向いて標識を掲げ、背景に工事を行う場所（設置予定地）の周辺状況（地面、家屋）と撮影すること。
②掘削完了	底盤の状態がわかるもの。逆光に注意し、深さ 1.5m以上の場合は矢板等の安全対策に考慮して撮影すること。
③栗石地業	栗石のつき固めの完了後を撮影すること。砕石基礎の場合は厚さ 10cm以上が分かるようにスケールを設置すること。
④目潰し転圧	転圧実施状況を撮影すること。
⑤基礎底盤コンクリート打設完了	出来高が分かるようにスケール及び水平器（縦横）を設置したもの（全体とアップ）を撮影すること。2次製品を使用する場合は、全体及び製品型番が確認できる箇所のアップを撮影すること。
⑥浄化槽本体搬入	浄化槽の種類が確認できるものを撮影すること。
⑦本体据付工事	水平器（縦横）を設置して確認しているもの（全体とアップ）を撮影すること。
⑧上部スラブコンクリート配筋状況	配筋の下部にスペーサーが配置してあるか確認できるものを撮影すること。
⑨上部スラブコンクリート打設完了	コンクリートの出来高が分かるようにスケールを設置したもの（全体とアップ）を撮影すること。
⑩かさ上げを行った場合はかさ上げ状況	マンホール蓋までの距離が分かるように、スケールをあて撮影すること。
⑪ためますの設置状況	台所等の油脂類を排出する箇所にためますを設置した状況を撮影すること。
⑫ブロー設置状況	ブローを設置した状況を撮影すること。
⑬工事完了	上部スラブ全体が入るように撮影すること。 放流先の写真を撮影すること。

転換分又は更新分

単独処理浄化槽又はくみ取槽を浄化槽に転換する際又は既設浄化槽を更新する際の既存槽の撤去状況を示す写真

写真の種別	注 意 事 項
⑭撤去前	撤去前の状況が分かるものを撮影すること。
⑮上部スラブ撤去、清掃等の状況	上部スラブの撤去、清掃等の状況が分かるものを撮影すること。
⑯本体撤去状況	本体の搬出又は埋戻し等の状況を撮影すること。
⑰撤去完了	撤去完了後の状況を撮影すること。

宅内配管分

宅内配管工事の状況を示す写真

写真の種別	注 意 事 項
⑱着工前	流入管（便所、台所、洗面所、風呂等）、ますの設置、放流管の設置予定箇所を撮影すること。
⑲配管設置状況	配管の設置状況が分かるように撮影すること。
⑳工事完了	配管の設置が完了した状況を撮影すること。

※必要に応じて、上記以外の写真の提出を求める場合がありますので、全工程をもれなく撮影すること。